

学校だより



平沼

横浜市立平沼小学校

令和2年1月7日

Mail ; y3hiranu@edu.city.yokohama.jp

URL ; <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/hiranuma/>



2020 今年もよろしくお願いたします

校長 長谷川 絹子

明けましておめでとうございます。昨年は、本校の教育にご理解とご支援をいただきまして誠にありがとうございました。今年も教職員一同、子どもたちのために精一杯努めていきます。保護者、地域、ご関係の皆様には、昨年同様ご理解とご支援をよろしくお願いたします。

元旦は暖かく穏やかな一日で、東京オリンピック・パラリンピック開催での盛り上がりにもふさわしい年明けとなりました。皆様のお正月はいかがだったでしょうか。ゆっくり新年を迎えたいと願いつつも、現実には仕事が入っていたり、いろいろな事情があったりと落ち着かなかったご家庭もあったとは思いますが、おせち料理やお雑煮は召し上がったのではないのでしょうか。

私の両親の育った地域では、お正月の朝の食卓は男の人が全て準備するのが習わしでした。女の方はゆっくり寝ていることができます。普段は女性が食事の支度をしているので、せめてお正月は日頃の感謝の気持ちを込めて、男性が用意しようということらしいのです。(年末におせち料理を作っておくのは女性です。)ですから、私は、結婚するまでお雑煮を作ったことがありませんでした。また、正月に帰省すると、幼い息子達も朝早く起こされて、雑煮づくりを手伝わされていました。父が亡くなってからは受け継がれていないので懐かしい思い出です。日本、世界には郷土色豊かなお正月があり、ずっと大切に受け継がれてほしいものです。

お雑煮は地方によっていろいろありますが、「いただきます・ごちそうさまでした」は、どこでも一緒です。「おいしく楽しい食事ができるのは家族のおかげ」「調理、食材の生産、流通等、見えないところで関わってくれている方への感謝」「自然の恵みや生命への感謝」そして、「自分が生きてこうして食事ができることに感謝」等々、素直な気持ちが「いただきます」と「ごちそうさまでした」に集約されています。感謝の気持ちを深くし、それを言葉で表すことによって、周りの人がうれしくなるだけでなく、自分を大切に成長していくことにもつながっていくと考えます。今年も食事のあいさつや感謝の気持ちに限らず、自分の想いをきちんと伝えたり相手の想いを受け止め理解したりする言葉のキャッチボール(対話)から豊かな人間関係を築き、成長する子どもの姿を大切にしていきたいと思えます。

さて、2020年の干支は「庚子(かのえね)」であり、なんといっても東京オリ・パライヤーです。「子(ね)」は十二支の始まりで種から芽吹くイメージやねずみの子たくさん、繁栄も感じさせます。これからの成長を目指してまずは価値ある一歩を踏み出すとともに、目いっぱいオリ・パラを楽しみながら心に残る一年になることを願っています。